

会員投稿



コロナ禍の困難な折、暑中お見舞い申し上げます。減っていた患者さんが徐々に回復して明るい兆しが見えるようすが、時間に追われずじっと診療できる時です。ピンチはチャンスです。テレビの画面にアップされたタレントさん達の、一見綺麗に見える人工の前歯に歯冠形態の大きすぎ、顔貌との不調和、冠縁の不調、コンタクト不良、自浄性不良等の問題点を見つけて

歯冠修復で歯を守るためのスキル

高槻市・久松 聡

とが多い。生まれながらの天然の歯は、自然の原理に従って進化した結果であり、歯の触覚は歯根膜にあり、皮膚感覚と同じ位、敏感。外傷性咬合はこの繊細な歯根膜と歯槽骨の組織を壊し、歯牙の動揺・喪失の原因となる。歯を守るための留意事項を挙げて行くと、①使用材料の物性(膨張・収縮・表面張力)で生じる誤差の修正②修復物の歯頸線は元の天然歯の歯頸線と同じ位置にし、根分岐部を再現③観察修正する修復物に対する視点の位置を決める④残存する天然歯の形態に合わせる等、このスキルの奥は深い。



「大阪府歯科保険医協会」5月に引き続き先月も調査実施。府内の歯科医師143人から回答

コロナ禍で重症化相次ぐ

協会調査 N H K・赤旗等が報道



▲NHKの報道
▲会見に臨む小澤理事長(左)と江原政策部長(右)

上ったことを受け、「感染を恐れた患者による過度の受診抑制が起きている」とコロナ禍の健康増進に警鐘を鳴らした。小澤理事長は、「自己判断で治療をやめることは避けてほしい。少しでも心配があれば、主治医に相談してほしい」と府民に呼びかけた。調査結果はNHK、赤旗等が報道した。

施設基準研修会に80人

歯初診・外来環



社保研究部は7月19日、「初診料の注1」と「歯科外来診療環境体制加算1、2」の施設基準に係る研修会を開催した。佐々木昇氏(尼崎中央病院歯科口腔外科部長)を講師に、80人が参加した(写真)。

佐々木氏は、①院内感染防止対策②偶発症に対する緊急時の対応③医療事故対策などの医療安全対策について解説。新型コロナウイルスの特徴に触れ、医院でできる具体的な予防法を紹介した。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
HP osk-net.org ファクス 06-6568-0564

医科・歯科経税部共催講習会
2020税務調査対策セミナー——税務調査をめぐる最近の動向と日常の留意点

日時 8月22日(土) 午後3時~5時
会場 保険医会館5階 定員 50人
講師 正田英司氏(協会税理士団)
会費 会員、会員家族・スタッフ無料
未入会者1万円

おおよそ医科・歯科九条の会
コロナ禍と憲法——世界から見た九条の値打ち、日本・大阪でいま起きていること

日時 8月30日(日) 午後3時~5時
会場 保険医会館5階
講師 西谷文和氏(ジャーナリスト)
会費 無料 定員 20人
※Zoomでのオンライン参加も可能です。その場合は入室コードをお知らせしますので、メールアドレスをご連絡ください。

市民公開講座
「大阪部」構想で医療・福祉はどうなるか

日時 9月12日(土) 午後6時~7時半
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 森裕之氏(立命館大学教授)
会費 無料 定員 60人

9月度生涯研修
顎関節症の診断と治療のポイント——さあ動かそう顎関節

日時 9月13日(日) 午前10時~午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 松本憲氏(大阪大学大学院歯学研究所招聘教員)
会費 会員3千円、未入会者1万円

新型コロナウイルス感染症拡大により中止する場合は、紙面等でご案内します。

無料相談

法律 9月7日(月) 午後2時~4時
税務 9月16日(水) 午後2時~5時
雇用 9月17日(木) 午後2時~4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

7月26日の第56回評議員会で採択した決議は次の通り。

第56回 通常評議員会決議

新型コロナウイルス感染症拡大から国民の暮らしと命を守り、安心・安全な「保険で良い歯科医療」を発展させよう

新型コロナウイルス感染症拡大が歯科医療者・患者の双方に困難をもたらしている。いま、政府や自治体には、国民の命と健康、暮らしを守るために全力を尽くすことが求められている。

感染拡大の中で患者が減少するなど、歯科医療機関はかつてない状況に直面している。緊急事態宣言下においても医療は休業協力要

請の対象外とされ、国民皆保険制度の下で地域医療を守る公益的役割が求められた。よって、歯科医療機関が健全に事業を継続できる

よう、政府は必要な財政的補償をすべきである。コロナ禍は公衆衛生や医療提供体制の脆弱さを明らかにした。政府は保健所や公的病院の削減路線を見直し、

支援すべきである。コロナ禍は公衆衛生や医療提供体制の脆弱さを明らかにした。政府は保健所や公的病院の削減路線を見直し、

要なのは、行政機構の変更にも多額の予算や時間を費やすことではない。市民や中小業者、医療機関などの苦難に寄り添い、「第2波、

経済効率や大企業利益を最優先にし、雇用と社会保障を破壊してきた政府の姿勢が、コロナ禍での国民生活の困窮と医療崩壊の危機を拡大させた。

安心・安全な歯科医療を求める国民の期待にこたえるためには、安倍政権が進める社会保障費削減路線を転換させなければならない。私たちは、社会保障を充実させ、「保険で良い歯科医療」を発展させるその先頭に立つ決意を表明する。